

第23回定期大会が開催されました！



10月28日（日）13:00～17:00、北九州市門司区門司生涯学習センターで、全国一般労働組合全国協議会北九州合同労働組合（ユニオン北九州）〔自治労全国一般福岡地区本部ユニオン支部〕第23回定期大会が開催されました。開催にあたって、ユニオン北九州結成と同時進行でたたかわれてきた下田産業解雇撤回闘争の経過を描いた記録映像（※自主製作DVD）の上映。23年前、ユニオン北九州結成の原動力となった下田産業争議の記録です。来賓あいさつ、祝電メッセージ披露、資格審査報告、議事運営報告のあと、休憩をはさんで、第1号議案「2018年度活動報告・2019年度活動方針」、第2号議案「財政報告」、第3号議案「ストライキ権の賛否についての投票」、第4号議案「第23期役員承認」などが行われました。

活動報告の中で、新規組合員の紹介と、以下の各分会の闘いが紹介されました(^^)♪

- 明和運輸分会
- 大島建設分会
- 臼杵運送分会
- 新生物流分会
- 八幡第一タクシー分会
- 昭和タクシー分会

【来賓の皆さん】

- ◆ 全国一般福岡地本 河村書記長
- ◆ 共闘センター 竹内代表
- ◆ 連帯労組山口 寺中さん
- ◆ 福岡生協労組 川口さん
- ◆ がっこうユニオンうい 山根さん
- ◆ ナリッジ共同法律事務所 渡辺弁護士
- ◆ 門司社民党 南川さん

第23期役員が、以下のとおり選出されました。

- | | | |
|--------|-------|--------------|
| 執行委員長 | 本村 真 | （北九西鉄タクシー分会） |
| 副執行委員長 | 見口 要 | （地域分会） |
| 書記長 | 末永 弘美 | （地域分会） |
| 書記次長 | 伏谷 晃司 | （地域分会） |
| 〃 | 野村 尚子 | （青雲会分会） |
| 執行委員 | 真部 康行 | （臼杵運送分会） |
| 〃 | 疋田 秀章 | （臼杵運送分会） |
| 〃 | 下田 祐一 | （新生物流サービス分会） |
| 〃 | 越智 道生 | （地域分会） |
| 〃 | 板井 義治 | （臼杵運送分会） |
| 〃 | 小橋 政徳 | （臼杵運送分会） |
| 〃 | 薄 寿敏 | （林田産業分会） |

ユニオンニュースが1年ぶりに再開します！

135号が出て1年余りお休みしていましたが、編集体制を一新して、ようやく発行することができました！
遅れに遅れて申し訳ありません。
今後とも、よろしくお願ひします。
ご意見など、ぜひお聞かせください。



【スケジュール 2018年12月～2019年1月】

- ◆ 12月18日 日本セレモニー行政訴訟（福岡地裁）
- ◆ 12月23日 狭山小倉駅前座り込み、忘年会
- ◆ 12月24日 全国協中執
- ◆ 1月2日 築城基地2の日行動
- ◆ 1月7日 共闘センター旗開き
- ◆ 1月8日 あらかぶさんを支える会北九州運営委員会

勝どきのほら貝 + えいえいおおー！

第23回定期大会の報告（※おわりに）



大会では、3時間半にわたる報告、質疑のなかで一年間のたたかいを振り返り、なぜユニオンなのか、ユニオン北九州は何を目指してたたかうのか、組合員みんなで考え、団結を深めることができましたと思います。

赤や青のユニオンジャケットの映える熱気に満ちた大会でした。

さいごに、今回は、いつものインターナショナルにかえて、見口副委員長、東洋建設工業元当該越智さんによる、勝どきの法螺貝 + えいえいおおー！で大会を締めくくりました♪
(*^^*)

日本セレモニー争議に、県労委が解雇無効の命令

日本セレモニーは労委命令に従い、争議を解決しろ！

2018年10月、福岡県労働委員会は、日本セレモニー不当労働行為救済申立事件について、会社の不当労働行為を認め、Yさんの原職相当職への復帰と、復帰までのバックペイを命じる勝利命令を出しました。

命令の内容は、組合の主張が全面的に認められたものでした。Yさんへの解雇にいたる手続きにおいて、はじめに「解雇ありき」であり、それは不当労働行為意思に基づいたものであることが断罪されました。

組合は10月17日の集中行動において、本社に対し「命令に従い争議を解決せよ」との申し入れを行いました。しかし会社は、この命令を不服として、労働委員会を相手に行政訴訟を行いました。まだまだ解決するつもりは無いようです。

仮処分攻撃を許さないぞ！

現在、日本セレモニーとの係争は、別件での労働委員会の他、仮処分裁判を抱えています。

2018年3月に神田社長自宅前での情宣行動を行ったところ、会社は直ちに行動禁止・面談強要禁止の仮処分を行いました。これについては、取り下げをさせました。

その後、6月27日の本社への申し入れの際、解雇の中心人物である春國係長が「不除去罪だ」と大声で叫びながら、組合の抗議行動を長時間妨害し、警察も20人ほど出動し、大騒ぎになりました。すると会社は、本社および各典礼会館前での行動について、すべて禁止の仮処分攻撃をかけてきました。さすがに、会社に対する抗議行動などを禁じることはできません。それこそ、労働組合の団結権と争議権を否定するものです。

組合は、春國の妨害行為と仮処分攻撃について、不当労働行為であると新たに救済の申立てを行いました。

仮処分、第2労委闘争とも、勝利を目指してがんばっていきたいと思います。ご支援・ご協力をよろしく願います！

組合つぶしの職場排除・自宅待機命令に対し、福岡県労働委員会へ申し立て

2011年から、組合員であるAさんは、2016年にITF合同会社に入社し、システムエンジニアの仕事をしています。

入社以来、これまで西部ガスやゼンリンの仕事をってきました。今年4月からは、シスメックスCNA社で医療システムの仕事をしてきました。

5月に、会社代表である山之内社長から「これまでの未払い賃金を支給する」との話がありました。

6月、会社から「30時間のみなし残業を含めた賃金制度」を打診されました。他の社員は、皆、何もわからずに同意したようですが、Aさんは「きちんと説明してほしい」「資料をください」と会社に要請しました。すると会社は、「資料は出さない」「賞与はゼロにする」と脅迫めいた言葉を言われました。また、その過程の中で、36協定の従業員代表者を選ぶ選挙から外されました。

6月25日、県のハラスメント窓口に相談しましたが、個人での対処は限界でした。

6月29日に、組合を公然化しました。これまで2回の団交を行いました。山之内社長は、子どものように不貞腐れ、話し合いも投げ出すような姿勢でまったく誠意が感じられませんでした。

2回目の団交のわずか2日後、会社は9月末でAさんをCNAのチームから外すことを組合に通告しました。その理由もデタラメなものでした。

組合は、10月からの業務を早急に提示すること、あるいは休職するのであれば100%の賃金を保障するよう要求しました。しかし会社は、いったん合意しかけた10月以降の業務を一方向的に反故にし、Aさんはやむなく休職することを余儀なくされました。また、9月に支給された夏季賞与も80%の大幅カットとなりました。

組合は、業務からの排除と夏季賞与の大幅減額について不当労働行為であるとして、10月12日に労働委員会へ救済の申立てを行いました。1日も早く、現場へ復帰できるよう、頑張っていきたいと思っています。

《東アジアの平和を創る「2018岩国行動」》



11月24日～25日、《東アジアの平和を創る「2018岩国行動」》(共催:アジア共同行動(AWC)日本連絡会議、岩国・労働者反戦交流会)に、ユニオン北九州の仲間たちと参加しました。

《1日目》

15:00～16:00現地フィールドワークでは、錦帯橋の広島側河口にある観察地点から、岩国基地を俯瞰。

現地で日々、基地の動きを監視してこられた方の説明を聞いたが、ありとあらゆる戦闘機・軍用機が岩国基地に飛来し、朝鮮半島における米韓合同軍事演習その他の展開に岩国基地を拠点とし、経由していることが分かりました。町のなかに基地があるのでなく、基地のなかに町がある、という印象です。

16:30～19:00岩国・労働者反戦交流会／16:30～19:30全国反基地交流会(於:岩国市福祉会館)

《2日目》

9:00～11:30岩国国際連帯集会(於:岩国市福祉会館)

集会では、終末高高度防衛ミサイルTHAAD配備撤回を求めてたたく韓国・ソソン里の青年が、まったく効力のないTHAAD(仮?)配備によって、100人くらいの住民が支え合って暮らしていた、ちいさな美しい村がめっちゃくちゃに破壊されたことなど報告。横田、京丹後、広島、岩国、萩、沖縄などからも報告がありました。

12:00～岩国基地正門ゲートへ向かうデモ

ちこちゃん、顔なしもいる、趣向をこらしたデモ。ユニオン北九州の横断幕に、急遽おりがみで作成した「イージスアショア 萩むつみ配備反対!」のメッセージを貼りつけてデモに参加しました。

映像に刻む
ファイト!



10/28ユニオン北九州第23回定期大会で上映された下田産業解雇撤回闘争記録映像(※自主製作DVD)。

今回は音響機器に詳しい北九州共闘センター事務局長竹内さんのおかげで無事上映できた。

中島みゆきの『ファイト!』をBGMに画面いっぱいにあふれだす、今みるとなつかしくもある当時の記録映像が、生き生きと伝わってくる。ひとをひととも思わぬ理不尽な解雇...澁んだ企業社会の沼地に咲く一輪の赤い花???(^^;

23年前のことだ。下田産業当該・大川映子元委員長、当時から活動をともにする仲間たち、今はなき仲間たちの若々しい姿が映像に刻まれている。これに先立つ西鉄タクシー争議団のたたかいに下田産業解雇撤回闘争が加わって、ユニオン北九州結成へと至った当時のことが思い返される。

闘争のなかから何が飛び出してくるかわからない混沌としたパワー、エネルギーに満ちあふれている。

確かに、ここに原点がある。このたたかう内容とスタイル、運動神経が、その後のユニオンに集う仲間たちの生きざま、ユニオンそのものを形づくってきたのだと思う。

この原点を肝にすえて、きたる2019年、ユニオン北九州は、連帯を求めて孤立を懼れず、さらに奮闘していく。